

【1 分解説】DFFT とは？

総合調査部 政策調査グループ 研究理事 重原正明

DFFT とは、Data Free Flow with Trust の略で、日本発のデータ流通のコンセプトです。

DFFT は 2019 年 1 月のダボス会議で当時の安倍総理が提唱し、同年 6 月の G20 大阪サミットの首脳宣言に盛り込まれました。DFFT は、信頼の確保できる当事者間での、国際的に自由なデータ流通の促進を目指す、というコンセプトと言えます。この実現のためには、当事者間の認証の仕組み、流通データの範囲や規格、データ取り扱いに関する規定などの整備が必要となります。

DFFT が提唱された背景には、データ収集の加速化、およびデータ高度利用要請の高まりがあります。データの大規模な収集が各所で進む中、日本がデータの活用を行うためには、安全かつ自由に国際的なデータの流通が図れる枠組みが重要です。また、企業が製品の原材料の生産者情報等の開示（トレーサビリティ）を求められるなど、諸方面でデータのより広範囲な収集とより高度な活用が求められるようになっていきます。

DFFT 普及には日本政府も努力を重ね、海外政府と協力覚書が交わされるなど成果も上がっています。DFFT はデータ活用でよりよい未来を築くための日本発のコンセプトであり、多くの国に受け入れられることを期待します。

関連レポート

・「【1 分解説】セキュリティ・クリアランスとは？」(2024 年 2 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/316459.html>